

【和文】

1. 小泉史明、望月仁、堀家誠一、武藤哲也、中込昭人、高相和彦、塚原宗俊、小山敏雄：胃転移をきたした肝細胞癌の一例検例. *Endosco Forum Digest Dis* 8 : 215-219、1992
2. 小泉史明、神宮寺禎巳、若林正清、山下晴夫、寺田仁久、加賀美年秀、竹崎徹、小山敏雄：糖尿病・肝硬変に合併した気腫性腎盂腎炎の一例検例 一本邦報告 103 例の文献的考察一. *山梨県立中央病院年報* 19 : 75-80、1992
3. 小泉史明、長田忠孝、阿部治男、加藤良平：びまん性悪性胸膜中皮腫の一例. *山梨肺癌研究会誌* 7 : 6-10、1994
4. 長田忠孝、小泉史明、朝比奈利明、他：平成 5 年度山梨県肺癌検診実施状況(第 7 報). *山梨医学* 22 : 25-29、1994
5. 小泉史明、大西明弘、竹村尚史、大久保修一、加賀美年秀、田中照二：慢性気道感染症患者におけるオフロキサシンの唾液中濃度モニタリングの有用性について. *臨床薬理* 25 : 45-46、1994
6. 小泉史明、長田忠孝、後藤慎一、竹村尚志、宮下義啓、大久保修一：外来における Carboplatin(CBDCA)、経口 Etoposide(VP-16)併用療法. *山梨肺癌研究会誌* 8 : 20-24、1995
7. 小泉史明、長田忠孝、大久保修一、後藤慎一、宮下義啓：切除不能肺非小細胞癌に対する Carboplatin(CBDCA)、経口 Etoposide(VP-16)併用療法 一外来における治療継続の意義について. *山梨医学* 23 : 108-111、1995
8. 小泉史明、大西明弘、石崎高志：整形外科と薬物療法 繁用される薬剤と使用上の注意 整形外科領域で使用される薬剤の副作用・相互作用. *骨・関節・靭帯* 8(10) : 1275-1283、1995
9. 長田忠孝、小泉史明、朝比奈利明、他：平成 6 年度山梨県肺癌検診実施状況(第 8 報). *山梨医学* 23:24-28、1995
10. 長田忠孝、小泉史明、朝比奈利明、他：平成 7 年度山梨県肺癌検診実施状況(第 9 報). *山梨医学* 24 巻 : 52-56、1996
11. 長田忠孝、小泉史明、朝比奈利明、他：平成 8 年度山梨県肺癌検診実施状況(第 10 報). *山梨医学* 25 巻 Page22-26、1997
12. 小泉史明、大西明弘、三輪谷博史、鈴木正、大網弘、藤原誠一、村上学、寺川雅人：喫煙が好中球エラスターゼ阻害吸入時の体内薬物動態に及ぼす影響. *臨床薬理* 29 : 131-132、1998
13. 山本夏男、安田公彦、宮下義啓、千葉直彦、小泉史明、長田忠孝、三俣昌子：気管支肺胞洗浄液の CD4/CD8 比の低下を契機として診断に至った AIDS に合併したカリニ肺炎の 1 例. *山梨肺癌研究会会誌* 11 (2) : 88-95、1998
14. 長田忠孝、小泉史明、朝比奈利明、他：平成 9 年度山梨県肺癌検診実施状況(第 11 報). *山梨医学* 26 : 34-38、1998
15. 小泉史明、西尾和人：抗癌剤によるアポトーシス. アポトーシスと疾患. 西條長宏編 医薬ジャーナル社 : 92-98、1999
16. 小泉史明、西尾和人、西條長宏：cDNA アレイ臨床応用. *最新医学* 56(3) : 440-448、2001
17. 西尾和人、小泉史明、芥川茂、洪泰浩、西條長宏. 【がんの化学療法】 *Molecular marker* によるオーダーメイド化学療法 (解説/特集) *最新医学* (0370-8241) 56 巻 3 号

18. 西尾和人、小泉史明、芥川茂、洪泰浩：Molecular Biotechnology マクロアレイ（解説）分子呼吸器病 5(4)：354-358、2001.
19. 小泉史明、西尾和人：一塩基多型（SNPs）および DNA マイクロアレイを用いた pharmacogenomic study. Cancer Frontier3 (1)：74-80、2001
20. 小泉史明、上井優佳：非ステロイド系抗炎症薬. 実践治療薬ガイド（改訂 2 版）. 田中照二、大西明弘編 日本医事新報社：223-235、2001
21. 小泉史明、上井優佳：抗アレルギー薬. 実践治療薬ガイド（改訂 2 版）. 田中照二、大西明弘編 日本医事新報社：237-241、2001
22. 小泉史明、上井優佳：気管支喘息治療薬. 実践治療薬ガイド（改訂 2 版）. 田中照二、大西明弘編 日本医事新報社：243-265、2001
23. 小泉史明、西尾和人：肺がんにおける緩和的化学療法 がん看護 7 (3)：200-203、2002
24. 西尾和人、小泉史明、築山正嗣：オーダーメイド化学療法 呼吸器科 1:332-336、2002
25. 西尾和人、小泉史明：III.注目される耐性機構とその検出 3.フローサイトメトリーの耐性診断への応用 臨床病理レビュー 特集 119:52-59、2002
26. 大江裕一郎、小泉史明、西尾和人、松村保広：がん用語解説集 垣添忠生監修、西條長宏、笹子三津留、横田淳 編、エルゼビアサイエンス、2002
27. 小泉史明、西尾和人.：肺がんの分子生物学・バイオセラピーの現状と将来 ZD1839 耐性肺癌の臨床 5：203-209、2002
28. 西尾和人、小泉史明.：ゲフィチニブ（イレッサ） 日本病院薬剤師会雑誌 4:53-56、2003
29. 端山直樹、小泉史明、西尾和人. 特集 基礎 肺癌治療基礎研究の新展開 分子標的治療薬の耐性発現機構、(株)先端医学社、分子呼吸器病、2003, 7(6): 507-513.
30. 小泉史明、官澤文彦、上田裕、洪泰浩、築山正嗣、田口史子、田村友秀、西條長宏、西尾和人. 02 CPT-11 Update 国内癌関連学会情報 1. 基礎 日本癌学会 2523 ヒト大腸癌細胞株における I 型 DNA トポイソメラーゼ阻害剤イリノテカンと EGFR チロシンキナーゼ阻害剤ゲフィチニブの相乗効果、発行：第一製薬(株)/(株)ヤクルト本社、' 02 CPT-11 Update、2003, pp. 4.
31. 荒尾徳三、小泉史明、西尾和人. DNA アレイの臨床応用 (株)メディカルレビュー社、がん分子標的治療、2003, 1(4): 308-312.
32. 西尾和人、小泉史明. 特集 分子標的 分子標的治療と耐性、(株)先端医学社、分子細胞治療、2003, 2(4): 373-377.
33. 下山達、小泉史明、Korfee Sonke、田村友秀、西條長宏、西尾和人. 03 CPT-11 Update 国内癌関連学会情報 1. 基礎 日本癌学会 W-408 ゲフィチニブ抵抗性非小細胞肺癌におけるイリノテカンとゲフィチニブの投与スケジュール依存的併用効果、発行：第一製薬(株)/(株)ヤクルト本社、' 03 CPT-11 Update、2004, pp. 4.
34. 小泉史明、端山直樹、西尾和人. Target を癌細胞に絞り込む 分子標的治療 4. ゲフィチニブ（イレッサ®）の基礎研究の動向、(株)メディカルレビュー社、Mebio Oncology、2004, 1(1): 23-27.
35. 小泉史明、西尾和人. 特別企画 肺の上皮と EGF シグナルの基礎と臨床：肺腺癌-EGFR 変異-分子標的治療薬、3. 肺腺癌に見いだされた gain of function 変異 人種差としての変異集積、先端医学社、分子呼吸器病、2005, 9(2): 133-136.

36. 河石真、小泉史明、西尾和人. 総説 分子標的治療薬の問題点. 癌と化学療法社、癌と化学療法、2006, 33(10): 1373-1379.
37. 小泉史明. 特集 抗がん剤の Drug Delivery System 8. 臨床試験に入ったミセル体 (SN-38 内包ミセル NK012). メジカルレビュー社、Mebio Oncology、2007, 4(2): 76-83.
38. 小泉史明. Meeting Report 第 65 回日本癌学会学術総会. メディカルレビュー社、がん分子標的治療、2007, 5(1): 77-79.
39. 小泉史明. ポスターセッション 10 ターゲティング・遺伝子治療・デリバリー. がん分子標的治療研究会、ニュースレター、2007, No. 11 pp. 50.
40. 小泉史明. 標的分子薬-1-②がん臨床バイオマーカー研究の最近の展開. 日本薬理学雑誌、2008, 132(2): 105-110.
41. 小寺康夫、小泉史明. 抗がん剤の作用機序そのものを腫瘍特異的なものとする方法: 血管新生阻害剤の周辺. 3-c その他の血管新生阻害剤と症例選択の可能性. (株)メディカルレビュー社、Mebio Oncology、2008, 5(1): 81-91.
42. 小泉史明. がん臨床におけるバイオマーカー研究 (アカデミアとしての取組). (株)三原医学社、臨床薬理、40(2)
43. 神田慎太郎、小泉史明. : 【がん細胞のどこを狙うか、なぜそこを狙うのか 分子標的治療薬を識るために】 抗体療法のメカニズム (解説/特集) Mebio Oncology、2009、26(5) : 81-91
44. 神田慎太郎、小泉史明. : Circulating endothelial cell(CEC)(解説) がん分子標的治療、2009、7(4) : 266-269
45. 温泉川真由、小泉史明、田村研治. : 【乳癌 基礎と臨床の架け橋】 臨床生物学的特性 乳癌の circulating endothelial cell(解説/特集) 最新医学 2010、65、6月増刊 : 1455-1465
46. 温泉川真由、小泉史明. : 【POP を中心としたトランスレーショナルリサーチの進歩】 ADCC 活性と抗体医薬の臨床効果(解説/特集) 腫瘍内科 2010、6(1) : 45-52
47. 中立裕介、小泉史明. : 【抗 EGFR 抗体療法の展望】 抗 EGFR 抗体と ADCC(解説/特集)がん分子標的治療 2011、9(2) : 95-102
48. 温泉川真由、小泉史明. : 【がん薬物療法のバイオマーカー】 ゲノム薬理学 SNP 解析(解説/特集) 最新医学 2011、66(9) : 1956-1961
49. 中立裕介、小泉史明. : 【がん分子標的治療の現状と展望】 分子標的薬の作用機序とバイオマーカー 抗 EGFR 抗体(解説/特集)Progress in Medicine2011、31(11) : 2553-2558
50. 小泉史明. : 第 2 章 がん臨床バイオマーカー 実験薬理学 実践治療薬 2012 金芳堂 : 45-51
51. 小泉史明. : Molecular Biology of Cancer Molecular methods 2.遺伝子増幅法 (PCR 法、RT-PCR 法、real-time PCR 法など) 新臨床腫瘍学 改訂第 3 班 日本臨床腫瘍学会 (編集) 2012 南江堂 : 54-57
52. 澤田武志、小泉史明. : Circulating tumor cells(CTC) 測定技術から分離解析技術への発展. がん分子標的治療. 2015、13(1) : 85-91
53. 小泉史明、澤田武志. 血中がん細胞診断 血中循環腫瘍細胞測定・解析技術の臨床応用への期待 Circulating tumor cell ; CTC. 細胞 48 (7) 、2016